公益法人用

（様式６）

# 経営改善目標の達成に向けた取組状況

## １　法人の概要（令和８年６月１日現在）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 法人名 | （公財）かながわ海岸美化財団 | | | | |
| 設立年月日 | 平成3年4月1日 | | 代表者名 | 代表理事　門脇　努 | |
| 所在地 | 茅ヶ崎市汐見台１番７号 | | 電話番号 | 0467-87-5379 | |
| 基本財産等 | 1,789,278,035　円 | 県出資額 | 1,400,000,000　円 | 県出資率 | 78.24　% |

## ２　法人運営における現状の課題（法人）

① 自主財源（会費収入、寄附金収入、基本財産運用収入）の確保
② 海岸清掃事業負担金等の財源の確保
③ かながわプラごみゼロ宣言やSDGsの方向性に沿った海岸美化の普及啓発
④ 限られた予算の中での効率的な事業の運営

## ３　法人の県主導第三セクターとしての検証（所管課）

### （１）公益性について

当該法人が清掃する相模湾沿岸150キロの海岸の良好な景観・環境は県民の共有財産であるところ、海岸漂着物処理推進法において、海岸管理者等は海岸漂着物等の処理のため必要な措置を講じ、市町村は必要に応じて協力しなければならないとされている。当該法人が行う海岸美化事業は、美しく豊かな自然を保護するための海岸事業であり公益性がある。

### （２）県行政との関連性について

当該法人が行う海岸清掃事業は、本来的には自治体の事務であるため、当該法人の設立時に県・相模湾沿岸13市町が清掃事業の内容、事業費の負担、ごみの処理・処分等について合意しており、広域自治体で海岸等の管理者である県行政と密接に連携している。

### （３）民間代替性について

かながわ海岸美化財団は日本で唯一の海岸美化専門の団体であり、既存の土木工事業者や廃棄物処理業者において当財団に匹敵する規模で継続性・機動性をもって海岸清掃を実施する団体もないため、民間代替性はない。

## ４　経営改善目標の達成に向けた取組実績等（法人）

＊ 項目ごとに、下段の（　）内に目標を、上段に実績を記載してください。

【県民サービスの向上】

| No. | 項目 | 単位 | ４年度 | ５年度 | ６年度 | ７年度 | ８年度 | ７年度自己評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 海岸美化充実・強化検討会議への参画 | 回 | 2<br>（2） | 3<br>（2） | 2<br>（2） | 2<br>（2） | （2） | A |
| | （担当者会議） | | 1<br>（1） | 1<br>（1） | 1<br>（1） | 1<br>（1） | （1） | A |
| | （課長会議） | | 1<br>（1） | 2<br>（1） | 1<br>（1） | 1<br>（1） | （1） | A |
| | 自己評価（目標未達の場合はその理由） | | | | 今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載） | | | |
| | 担当者会議、課長会議とも開催され、海岸清掃事業に関する状況について、県及び各市町と意見交換ならびに情報提供することができたため、A評価とした。 | | | | | | | |
| | 備考 | | | | | | | |

| No. | 項目 | 単位 | ４年度 | ５年度 | ６年度 | ７年度 | ８年度 | ７年度自己評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | 環境出前授業「学校キャラバン」の実施 | 人 | 3,814<br>（うち新規1,061）<br>2,700<br>（うち新規200） | 3,934<br>（うち新規1,304 ）<br>3,000<br>（うち新規200） | 3,188<br>（うち新規1,047）<br>3,040<br>（うち新規200） | 1,395<br>（うち新規1,037 ）<br>3,070<br>（うち新規200） | （うち新規　）<br>3,100<br>（うち新規200） | B |
| | 自己評価（目標未達の場合はその理由） | | | | 今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載） | | | |
| | 専任で担当していたベテラン職員が退職したことから、参加人数が目標を下回ったため、B評価とした。 | | | | 授業内容の質の向上を意識しながら、目標を達成するよう、さらに取組みを進める。 | | | |
| | 備考 | | | | | | | |

| No. | 項目 | 単位 | ４年度 | ５年度 | ６年度 | ７年度 | ８年度 | ７年度自己評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | 海岸の美化啓発のための講演等 | 回 | 13<br>( 10 ) | 10<br>( 10 ) | 9<br>( 10 ) | 7<br>( 10 ) | <br>( 10 ) | B |
| | 自己評価（目標未達の場合はその理由） | | | | 今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載） | | | |
| | 海岸ごみの現場の実態を踏まえた立場から講演を行ったが、回数が目標値に若干届かなかったため、Ｂ評価とした。 | | | | 企業等からの講演依頼を積極的に受けることにより、目標を達成するよう、さらに取組みを進める。 | | | |
| | 備考 | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

| No. | 項目 | 単位 | ４年度 | ５年度 | ６年度 | ７年度 | ８年度 | ７年度自己評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4 | 海岸の美化啓発のためのワークショップ開催 | 回 | 10<br>( ５ ) | 17<br>( ５ ) | 15<br>( ５ ) | 13<br>( ５ ) | <br>( ５ ) | A |
| | 自己評価（目標未達の場合はその理由） | | | | 今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載） | | | |
| | 市町の環境フェア等で実施し、目標値を大きく上回ったため、Ａ評価とした。 | | | | | | | |
| | 備考 | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

| No. | 項目 | 単位 | ４年度 | ５年度 | ６年度 | ７年度 | ８年度 | ７年度自己評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5 | 海岸清掃ボランティアへの支援 | 人 | 140,947<br>( 110,000 ) | 166,669<br>( 130,000 ) | 165,811<br>( 160,000 ) | 167,316<br>( 160,000 ) | <br>( 160,000 ) | A |
| | 自己評価（目標未達の場合はその理由） | | | | 今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載） | | | |
| | 個人や小規模での清掃は順調に推移し、参加人数が目標値を大きく上回ったため、Ａ評価とした。 | | | | | | | |
| | 備考 | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

| No. | 項目 | 単位 | ４年度 | ５年度 | ６年度 | ７年度 | ８年度 | ７年度自己評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6 | 美化団体交流会の開催 | 人 | 341<br>( 160 ) | 411<br>( 160 ) | 430<br>( 160 ) | 504<br>( 160 ) | <br>( 160 ) | A |
| | 自己評価（目標未達の場合はその理由） | | | | 今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載） | | | |
| | 会場開催に加え、オンラインで配信するハイブリッド形式で実施して、全国各地からの参加を得られ、人数も目標値を上回ったため、Ａ評価とした。 | | | | | | | |
| | 備考 | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

【収支健全化に向けた経営改善】

| No. | 項目 | 単位 | ４年度 | ５年度 | ６年度 | ７年度 | ８年度 | ７年度自己評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 海岸清掃事業費負担金収入 | 千円 | 251,773<br>( 248,716 ) | 248,763<br>( 248,716 ) | 266,530<br>( 248,716 ) | 285,950<br>( 248,716 ) | ( 248,716 ) | A |
| | （通常清掃費） | | 231,340<br>( 227,691 ) | 235,200<br>( 227,691 ) | 244,280<br>( 227,691 ) | 263,700<br>( 227,691 ) | ( 227,691 ) | A |
| | （緊急清掃費） | | 20,433<br>( 21,025 ) | 13,563<br>( 21,025 ) | 22,250<br>( 21,025 ) | 22,250<br>( 21,025 ) | ( 21,025 ) | A |

| 自己評価（目標未達の場合はその理由） | 今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載） |
|---|---|
| 通常清掃費、緊急清掃費とも目標値を上回る収入を得られたため、A評価とした。 | |

| 備考 |
|---|
| |

| No. | 項目 | 単位 | ４年度 | ５年度 | ６年度 | ７年度 | ８年度 | ７年度自己評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | 会員の会費収入 | 千円 | 9,064<br>( 7,500 ) | 9,635<br>( 7,700 ) | 10,044<br>( 7,900 ) | 10,084<br>( 8,200 ) | ( 8,500 ) | A |

| 自己評価（目標未達の場合はその理由） | 今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載） |
|---|---|
| 積極的に財団事業のＰＲと会員加入の働き掛けを行った結果、会費収入は過去最高となり、目標値を上回ったため、A評価とした。 | |

| 備考 |
|---|
| |

| No. | 項目 | 単位 | ４年度 | ５年度 | ６年度 | ７年度 | ８年度 | ７年度自己評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | 寄附金収入 | 千円 | 5,839<br>( 3,200 ) | 8,332<br>( 3,400 ) | 8,096<br>( 3,600 ) | 6,831<br>( 3,800 ) | ( 4,000 ) | A |

| 自己評価（目標未達の場合はその理由） | 今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載） |
|---|---|
| 財団事業に賛同する企業等から、使途を指定した寄附やごみ袋の提供を受け、目標値を上回ったため、A評価とした。 | |

| 備考 |
|---|
| |

| No. | 項目 | 単位 | ４年度 | ５年度 | ６年度 | ７年度 | ８年度 | ７年度自己評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4 | 常勤職員数 | 人 | 8<br>( 8 ) | 8<br>( 8 ) | 8<br>( 8 ) | 7<br>( 8 ) | ( 8 ) | A |

| 自己評価（目標未達の場合はその理由） | 今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載） |
|---|---|
| 業務運営に必要最低限の職員数で運営している中で、７年度は常勤職員の年度途中の退職が発生したが、業務量が増える中で現有の人員体制で業務を維持することができたため、A評価とした。 | 令和８年４月１日付けで新採用職員が着任し、常勤８人体制に戻っている。 |

| 備考 |
|---|
| |

## ５　財務状況（法人）

（単位：千円、％）

| 区分 | | 5年度 | 6年度 | 7年度 | 増減率（前年度比） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 貸借対照表 | 資産 | 1,987,993 | 1,972,294 | 1,948,681 | △ 1.2 | |
| | 流動資産 | 69,445 | 78,257 | 72,862 | △ 6.9 | |
| | 固定資産 | 1,918,547 | 1,894,037 | 1,875,819 | △ 1.0 | |
| | 負債 | 111,681 | 99,179 | 80,843 | △ 18.5 | |
| | 流動負債 | 34,587 | 46,471 | 32,166 | △ 30.8 | |
| | 固定負債 | 77,094 | 52,708 | 48,677 | △ 7.6 | |
| | 正味財産 | 1,876,312 | 1,873,115 | 1,867,838 | △ 0.3 | |
| | 指定正味財産 | 1,794,916 | 1,794,477 | 1,794,110 | △ 0.0 | |
| | 一般正味財産 | 81,396 | 78,638 | 73,728 | △ 6.2 | |

| 区分 | | | 5年度 | 6年度 | 7年度 | 増減率（前年度比） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 正味財産増減計算書 | 一般正味財産 | 経常収益 | 306,823 | 325,308 | 344,292 | 5.8 | |
| | | 経常費用 | 301,760 | 328,067 | 349,864 | 6.6 | |
| | | 事業費 | 291,268 | 317,285 | 339,048 | 6.9 | |
| | | うち人件費 | 69,264 | 78,783 | 86,583 | 9.9 | |
| | | 管理費 | 10,493 | 10,782 | 10,816 | 0.3 | |
| | | うち人件費 | 2,224 | 2,137 | 2,314 | 8.3 | |
| | | 評価損益等計 | | | | | |
| | | 評価損益等調整前当期経常増減額 | | | | | |
| | | 当期経常増減額 | 5,063 | △2,758 | △5,572 | | |
| | | 経常外収益 | 4,896 | 0 | 1,815 | | 水没車両の保険金収入 |
| | | 経常外費用 | 0 | 0 | 1,153 | | 水没車両の除却損 |
| | | 当期経常外増減額 | 4,896 | △0 | 662 | | |
| | | 当期一般正味財産増減額 | 9,958 | △2,758 | △4,910 | | |
| | 指定正味 | 当期指定正味財産増減額 | 446 | △439 | △367 | | |
| | 正味財産期末残高 | | 1,876,312 | 1,873,115 | 1,867,838 | △ 0.3 | |

（単位：千円、％）

| 区分 | | 5年度 | 6年度 | 7年度 | 増減率（前年度比） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 県の財政的支援※ | 補助金 | | | | | |
| | 交付金 | | | | | |
| | 負担金 | 139,737 | 153,302 | 163,841 | 6.9 | |
| | 貸付金 | | | | | |
| | 利子補給 | | | | | |
| | 合計 | 139,737 | 153,302 | 163,841 | 6.9 | |
| | 県の財政的支援の割合（合計/経常収益） | 45.5 | 47.1 | 47.6 | 1.0 | |

※第三セクター等の指導、調整等に関する要綱に基づく支援区分

| 区分 | | | 5年度 | 6年度 | 7年度 | 増減率（前年度比） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 参考 | | 委託料（指定管理料含む） | | | | | |
| | ① | 合計（県の財政的支援＋委託料） | 139,737 | 153,302 | 163,841 | 6.9 | |
| | | 県の財政的関与の割合（合計（県の財政的支援＋委託料）/経常収益） | 45.5 | 47.1 | 47.6 | 1.0 | |
| | ② | 債務保証（残高） | | | | | |
| | | 損失補償（残高） | | | | | |

| 指標 | 計算式 | 5年度 | 6年度 | 7年度 | 増減率（前年度比） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 正味財産比率 | 正味財産/（負債＋正味財産） | 94.4 | 95.0 | 95.9 | 0.9 | |
| 流動比率 | 流動資産/流動負債 | 200.8 | 168.4 | 226.5 | 34.5 | |
| 人件費比率 | 人件費/経常費用 | 23.7 | 24.7 | 25.4 | 3.0 | |
| 管理費比率 | 管理費/経常費用 | 3.5 | 3.3 | 3.1 | △ 5.9 | |

## ６　取組実績等についての総括（法人）

当財団は、令和４年度に策定した第６次経営改善計画に基づき、効率的な財団運営を目指して取り組んでいる。
海岸清掃事業については、令和６年度のような大雨による災害級とも言える量のごみの漂着は見られず、関係機関や関係団体と連携を図り、効率的に対応した。
自主財源の確保については、財団事業の積極的なＰＲと会員加入の働き掛けにより、会費収入は増加し、過去最高となった。また、財団事業に賛同する企業等から寄附金を受けた。
美化啓発事業については、学校キャラバンの参加人数は目標には達しなかったものの、質の向上を意識しながら取り組んだ。また、講演、ワークショップの実施回数については、概ね目標を達成でき、啓発の効果を上げることができた。
美化団体支援事業においては、海岸清掃ボランティアに対するきめ細かい支援を行うことにより、過去最高の参加人数を記録した。また、美化団体交流会をハイブリッド形式で実施し、多くの参加者を得ることができた。
事業の実績は、ほぼ目標値を達成することができた。今後も更に実績を上げられるよう努めていく。

## ７　取組実績等についての総括（所管課）

海岸清掃事業については、定期的な海岸パトロールを実施し、海岸ごみの散乱状況等を的確に把握し、通年の計画的な通常清掃とともに、荒天等による漂着ごみの急増時には緊急清掃を実施することができた。
自主財源の確保については、積極的な事業ＰＲと会員加入の働き掛けにより、会員数及び会費収入が増加した。また、多額の寄付金や物品寄付を受けることができた。
美化啓発事業については、ワークショップは目標値を上回る回数を実施することができた。環境出前授業「学校キャラバン」及び講演等については目標に達しなかったが、年度途中で常勤職員が退職するなど人員が限られた中でも一定の成果を挙げることができた。
美化団体支援事業については、海岸清掃活動の情報提供や参加者への清掃用具貸出等きめ細かに支援することで、過去最高水準の約16万７千人となった。また、企業・学校・関係行政機関・環境美化活動をしているボランティア等を対象とした美化団体交流会を開催し、参加者との交流を深めることができた。
今後も引き続き、財源の確保等、経営基盤の強化に努め、経営改善目標の達成に向けて指導していく。

## ８　第三セクター等改革推進会議の総合評価・今後の取組に向けた意見

| 評価結果 | |
|---|---|
| A | 概ね着実に取組が進められている。 |